

遺伝カウンセリング室

1. スタッフ

室長(教授)(兼) 岩本 禎彦
 室長補佐(准教授)(兼) 山形 崇倫
 医員(教授)(兼) 桃井真里子
 医員(教授)(兼) 梶井 英治
 医員(教授)(兼) 遠藤 仁司
 医員(准教授)(兼) 久米 晃啓
 医員(講師)(兼) 森 雅人
 医員(講師)(兼) 諏訪 清隆
 医員(助教)(兼) 野崎 靖之
 医員(講師)(兼) 石川浩太郎
 医員(講師)(兼) 高見澤 聡
 医員(助教)(兼) 森田 光哉
 医員(助教)(兼) 後藤 珠子

2. 遺伝カウンセリング室の特徴

遺伝カウンセリング室では、遺伝性疾患の発症やそのリスクに関連した問題を抱える患者・家族に対し、診断・経過・医学的支援への理解を助けること、疾患の遺伝性や再発率を正しく評価することを主な目的として診療にあたっている。そのため、専門診療科スタッフ、コメディカル、臨床遺伝専門医が、生命倫理を最大限尊重しつつ最善の支援を提供できるよう、各症例についてカンファレンスで討議し診療方針を決定している。また、平成20年度から、一部の疾患を対象に遺伝学的検査を実施し、その結果について患者やその家族に対して情報提供などの遺伝カウンセリングを実施した場合に保険診療が認められ、当院でも保険診療を実施できる体制を整えている。

- 臨床遺伝専門医制度研修施設
人類遺伝学会および日本遺伝カウンセリング学会認定
- 認定医
臨床遺伝専門医 岩本 禎彦 他9名

3. 実績・クリニカルインディケーター

業務内容：遺伝子診断、染色体検査とそれに基づいた遺伝カウンセリング。その他の遺伝相談。

業務実績：

- 保険診療を行った疾患
 - ・Fabry病
 - ・Duchenne型筋ジストロフィー
 - ・13トリソミー

遺伝学的検査：10件
 遺伝カウンセリング：8件

保険対象外で診療を行った疾患

- ・スキルス胃がん
- ・筋強直性ジストロフィー
- ・メッケルグルーバー症候群

遺伝学的検査：5件
 遺伝カウンセリング：8件

4. 事業計画・来年の目標等

昨年度と比較して、遺伝学的検査ならびに遺伝カウンセリングの件数は横ばいであるが、次年度はこれをさらに増やすよう、学内外に周知する努力が必要である。

保険診療外のカルテは、電子カルテシステムに乗ってはいるが、遺伝子に関する情報は家族にも関係する高度な個人情報であり、それを保護する観点から現在非公開である。しかし、保険診療を行う時のカルテは公開となっている。今後も、その情報管理システム構築に向けてさらに議論を進める。

遺伝学的検査の一部は、外注業者が請け負う体制が出来ているが、頻度の低い疾患については、かつて研究目的で解析を受け入れていた大学などの講座が徐々に減少している。これを解決することは本学のみでは難しい。全国遺伝子診療部門会議等を利用して、情報交換と行政への働きかけを継続的に行う必要がある。

抗がん剤イリノテカンの副作用に関連する遺伝子多型UGT1A1も平成21年度から解析可能となっている。現在のところ実施例は無いが、今後、このようなファーマコ・ジェネティクス分野における遺伝子検査需要の伸びが予想され、それに倫理的配慮を行いながらどのような対応が望ましいかについて検討を行う必要がある。